

いかわ

# 議会 だより

No. 140

2019.10.15

井川義務教育学校  
5年生初の稲刈り体験

9 月議会

(会期・9月11日～19日)

第3回定例会・第2回臨時会	2
平成30年度決算審査	4
総括質疑	6
常任委員会審査	8
一般質問(3議員登壇)	9
陳情・監査・人事	13
県外行政視察報告	14
私のひとこと・議会のうごき	16

# 町づくりへの歩み

## 第3回 定例会

9月11日～19日

### 各会計決算 と認定する

#### 会計

##### ◆歳入

単位：万円

項目	平成30年度
町税	43,656
地方譲与税	3,781
利子割交付金	61
配当割交付金	65
株式等譲渡所得割交付金	59
地方消費税交付金	9,223
自動車取得税交付金	762
地方特例交付金	205
地方交付税 (うち普通地方交付税)	168,506 (153,245)
(うち特別地方交付税)	(15,261)
交通安全対策特別交付金	70
分担金及び負担金	2,156
使用料及び手数料	6,522
国庫支出金	15,180
県支出金	17,213
財産収入	578
寄付金	219
繰入金	6,302
繰越金	16,718
諸収入	4,635
町債	40,780
<b>歳入合計</b>	<b>336,699</b>

(歳入歳出とも千円以下をカット表示)

令和元年度一般会計補正予算は1億2,500万円を追加し、総額30億3,870万円とするもの。

一般質問では3人の議員が登壇し、職員体制・制度、国花苑整備、市町村連携「圏域」構想問題など町政を質しました。

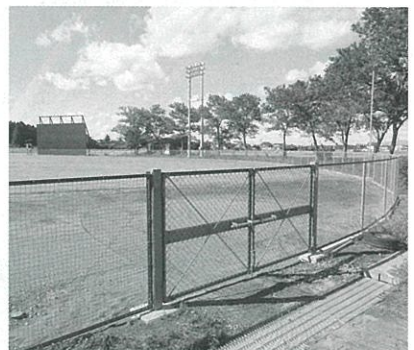
9月議会定例会は、11日から19日までの9日間の会期で開かれました。

財政の健全化判断比率並びに資金不足比率の良好報告を了承した後、平成30年度一般会計と特別会計ならびに水道事業会計の9会計について決算審査特別委員会を設置・審議し、全ての会計を原案のとおり認定しました。

また、町条例の一部改正、町過疎地域自立促進計画の事業内容追加変更案、令和元年度一般会計と特別会計4件ならびに水道会計各々の補正予算案、下水道会計繰入れ案、水道会計剰余金処分案と人事案件2件を審議し、いずれも原案どおり可決、同意、答申した。



田中町内町道の道路補修



整備された町民球場

549万円、町道整備に1

#### 実施した主な事業

庁舎改修に1億2,000万円、義務教育施設整備に1,112万円、町営住宅改修に1,046万円、町民球場改修に1,026万円等、普通建設事業に4億4,920万円を投入し、道路災害復旧に1,946万円等、災害復旧事業に3,213万円を投入し、教育環境や生活環境の整備、災害に対するインフラ整備を進め、地域経済の回復に向けた取り組みを行いました。

#### 各特別会計・水道事業会計

単位：万円

項目	歳出済額
国民健康保険事業特別会計	53,447
国民健康保険井川町診療所特別会計	10,030
介護保険事業特別会計	84,388
介護認定事業特別会計	2,694
介護サービス事業特別会計	34,323
後期高齢者医療特別会計	5,379
下水道事業特別会計	23,006
水道事業会計	9,979
<b>合計</b>	<b>223,253</b>

(千円以下をカット表示)

# 安全・安心・住み良い



エアコン設置の義務教育学校特別教室



屋根塗装を終えた街道町営住宅



外壁改修で明るくなった庁舎



新しくなったスクールバス

## 平成30年度 適正運営 一般

### ◆歳出

単位：万円

項目	平成30年度
議会費	6,122
総務費	63,706
民生委	81,322
衛生費	25,029
労働費	53
農林水産業費	15,532
商工費	814
土木費	31,683
消防費	15,206
教育費	22,181
災害復旧費	3,213
公債費 (うち元金)	52,938 (51,622)
諸支出金	
<b>歳出合計</b>	<b>317,803</b>

### 歳出

プレミアム付商品券発券事業委託  
449万円、子育て支援多世代交  
流館フェンス等設置工事385万  
円、下水道事業特別会計操出金3、  
026万円、町債繰上償還費等公債  
費7、410万円等の追加。

### 歳入

普通地方交付税1、668万  
円、プレミアム付商品券事業費補  
助金449万円、前年度繰越金  
1億336万円の追加と臨時財政対  
策債150万円の減額。

### 令和元年度一般会計

### 補正の主な内容

## 第2回 町議会臨時会

去る8月8日臨時議会が開催され、井川町映画製作を支援する会補助金1,000万円追加とする一般会計補正予算案が可決された。



大麦地内道路災害復旧

# 平成30年度決算審査

# 身近な課題を議論

平成30年度の一般会計、7件の特別会計と水道事業会計の決算を9月13日から4日間決算特別委員会（委員長 伊藤 俊郎）で審査し、原案通り認定した。

## 総務課

**問** 巡回バス運行委託費が5年間で約500万円の増額の理由は何か。

**答** 運転手の人件費及び車両修繕費によるもの。

**問** 再生可能エネルギー等導入事業は、必要時に電力を速やかに活用可能な状態にあるか。

**答** 平成28年度の会計検査での指摘があり、役場の設備について停電時に自立運転可能に変更した。旧小学校・さくら苑・ゆうゆうについては停電時に2台機能させるよう是正工事を実施した。

**問** 町内会施設修繕料は、5万円以上修繕の場合、町が費用の3分の2、町内会が残りを負担。戸数の少ない町内会の場合、負担が大きいので町

内戸数に応じて負担率を緩和してはどうか。

**答** 規模が小さい町内の負担が大きいのは町も把握している。今後の検討課題とする。なお、世帯数の少ない町内会については、一世帯当たりの負担額上限を1万円としている。

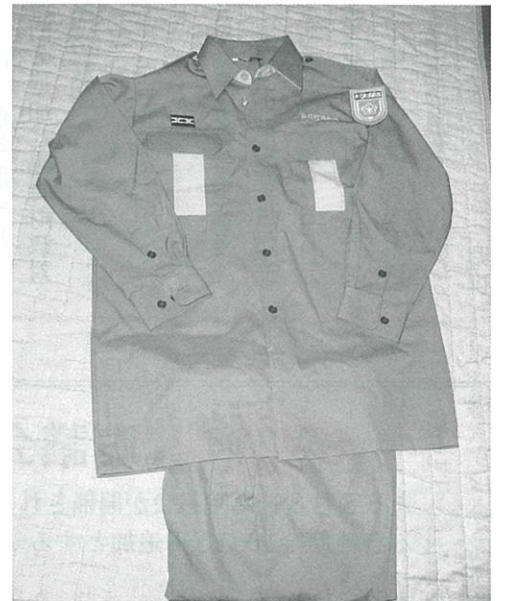
**問** あきたふるさと手作りCMの制作の実態はどうか。

**答** 平成30年度までは、町職員を含む町内有志で構成する「井川さくらプロジェクト」に制作を委託していた。31年度は、町職員主体で制作中である。

## 町民課

**問** みなくる北側法面のフェンスが歪んでいたが、昨年の復旧工事で直りきっていない。また歪んできているが、どのように対処を考えているか。

**答** 北側法面は、急勾配



全団員の消防服の早期購入に期待

で強い雨が降ると土が流れる。復旧の際は、補修したが再度波打ってきている。今後の対応を考えたい。

**答** 会員が少なく、募集しても集まらない状況。賃金を上げれば会員が増えるのではと思っっている。来年度は、賃金含め検討したい。

**問** 消防団の消防服75名分しか購入していないが、いつ全団員分揃えるか。

**答** 一定の人のみが新しい消防服を着るのは良くない。来年度で、全員分揃うよう予算計上したい。

**問** 老人クラブ活動助成金16クラブへ補助しているが、高齢化しているにも関わらず16クラブしか活動していない現状をどう把握して、今後どうしていくか。

**問** シルバー人材センターへ補助金が出されているが、会員は高齢化しており、活動も活発でないと感じるが、社協への指導や町の考えは。

**答** 老人クラブ以外にも言えるが、地域でリーダーとなる人がいない。リーダー不在でも老人クラブ会員として残れないか検討をお願いしている。

# 生活に直結する

今後もクラブ側と話し、どうすべきか検討する。

## 教育委員会

**問** 義務教育学校の施設の広さ等に関する課題はあるか。

**答** 職員室の広さは、教職員たちも慣れて不満の声はない。教室の広さは、今後さらに子供の数が減ることもあり、広いスペースを利用できる。

**問** 学校の図書費は十分に足りているか。

**答** 全国の平均と比較しても井川の子供たち一人当たりの額は少なくない。夏休み前には図書カードの贈呈もあり、恵まれた環境にある。

**問** 今年から小学校で英語教育が実施されているが、ALTの先生の負担はどうか。

**答** クラスの減少と、学校が一つになったことも

あり、負担は少なくなっていると思う。

## 産業課

**問** 雪解け後の道路穴の修復までの時間が掛かっている。予算を多めにし早急に修復できるようにしてほしい。

**答** 早急に対応できるようにしたい。

**問** 国花苑の遊具による高温時のやけど対策について、どのように考えているか。

**答** 看板による注意喚起のみで、遊具の使用中止は考えていない。一度遊具業者にも確認する。

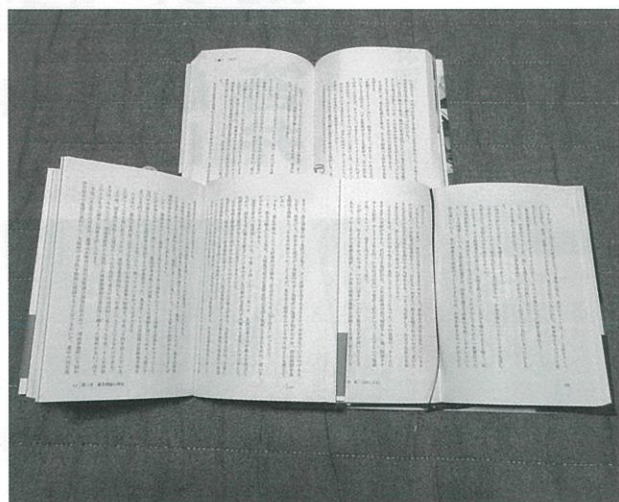
**問** 観光PRのパンフレットについて、もっと力を入れるべきではないか。

**答** 前回作成のパンフレットは良いものがあったと考えている。町の観光PRは弱い部分があるので、何ができるか今後検討する。

**問** さくらまつりの打ち上げ花火の際、町職員も交通整理をしているが、

夜間の交通整理は危険であり、警備会社に委託するべきと考えるが。

**答** 警備会社に委託しているが、会社だけでは整理に必要な人員確保が難しい。予算の問題もあり警備会社と町職員両方で交通整理する必要がある。



子供たちの読書への関心高まる



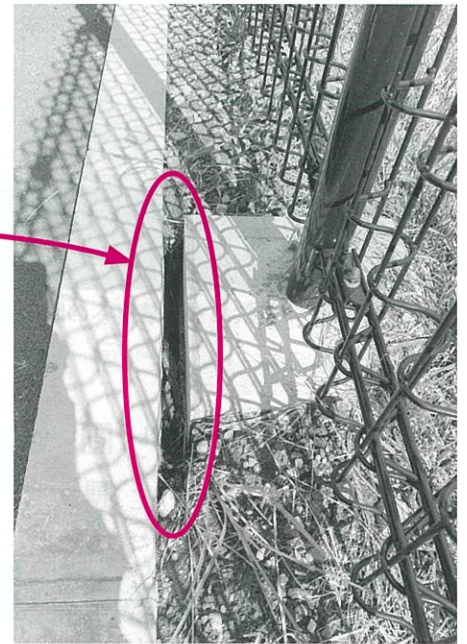
高温時のやけど対策どう対応する

## 検証結果今後活かす

# 町政運営の基本

## 総括質疑

### 30年度決算全般に関する質疑・答弁



「みなくる」法面の抜本の見直しが必要

湊 文博

昨年の大雨で「みなくる」北側の法面が崩れ復旧工事をしたが、その後もフェンスの歪み等があると法面を根本的に見直す必要がある。今後の対応策は。

町長

ご指摘どおり、法面の根本的な解決が必要と認識しており、今後の対応を検討したい。

湊 文博

昨年こどもセンター0歳児室のうつぶせ回避用ライブカメラ試験は、その後検証結果・今後の導入予定はどうなっているか。

町長

NTTドコモにおいて商品化へもっていきける程度の判別率はクリアしており、一定の成果が出た実験結果であると聞いている。金額面にもよるが、導入について前向きに検討したい。

石井 茂

教職員の長時間労働是正について、どのような施策をしたか、金額も含め説明願う。

教育長

補正予算によりタイムレコーダーを導入し、時間外勤務を3年以内で月45時間以内に抑えることを目標とした。当初は約3分の1の職員が45時間を超えていたが、今年7、8月は4、5人にまで減った。月80時間「過労死ライン」を超える職員については面談を行って解消に努めたい。部活動については、平日週1回休み、土日どちらか1回休みという目標は、義務教育学校ではほぼ完全に順守している。

湊 文博

臨時職員の労働時間が短縮になったことで、正職員の負担増、行政サービスの低下につながっていないか。また、短縮に伴い月1万5,000円

# 危機管理 (災害への備え) は 労務管理 (人材育成)

2万円程減っているの  
に対し救済は考えている  
か。

**町長**

どの職をもってしてと  
いうのも難しいが、事務  
の臨時職員の労働時間を  
減らしたことで、正職員  
の負担増、行政サービス  
が低下したという認識は  
ない。また、労働時間が  
減ったことから時間給を  
上げており、トータルで  
は多少下がることになっ  
たが、ほとんど影響のな  
いようにした。

**石井 茂**

今回の決算の中身は、  
人件費抑制の結果なの  
か、それとも、従来とは  
異なり適正な職員体制を  
とっており、人件費抑制  
はないということか。

**町長**

自立計画に基づいて人  
件費を抑制してきた時代  
はあった。30年度決算に  
ついては、必要な人員を  
確保できず職員に負担を  
してしまっただけ反省はあ

るが、人件費を抑制した  
という認識はない。

**石井 茂**

農業振興について、決  
算を見ると様々な交付金  
は大きい農家優先で支援  
されているように感じ  
る。もっと小さい農家に  
対して支援を行うべきで  
はないか。

**町長**

町による農業支援は考  
えていかなければならな  
い。

**遠藤政勝**

未収入金が増加傾向に  
あり、おおよそ今年は町  
税で1,500万円。水  
道使用料は100万円増  
えて1,000万円にな  
ろうとしている。今後の  
対応は。

**町長**

払えるにも関わらず  
払っていないと思われる  
方がいる。訪問回数を増  
やし、収納計画を立てて  
もらうよう指導している  
が、なかなか難しい。対

応の強化は考えている。

**湊 文博**

日本国花苑さくらまつ  
りの来場者が年々増えて  
いる。正面入り口で秋田  
方面からの右折車で渋滞  
が発生しているが、右折  
レーン増設について国等  
への要望を考えている  
か。

**町長**

現状では検討していな  
い。

**遠藤政勝**

30年度は繰越金が約1  
億8,000万円ほどあ  
るが、町内会から要望が  
出たものに対してどの程  
度対応しているか。

**町長**

町内会要望についてで  
きるものは、ほぼ対応し  
ている。道路に関しては  
予算上簡単に修復できな  
い。側溝の修繕や清掃は、  
予算不足の場合があるこ  
と、順番やどこまでやる  
かについて政策判断して  
回答している。



行政サービス向上に努力する職員

# 常任委員会審査

## (総務産業・教育民生)

**問** 町内からの要望、いろいろあるができるものはスピード感を持って実行できないか。

**答** 要望に対してはできるだけやりたいという考えではあるが、予算規模、優先順位、本場に必要か等加味しながら検討している。理解願いたい。

月まで。公衆無線LANは設置場所が広範囲なため場所の精査・確認等で若干遅れた。

**問** 街灯の修繕は町内会持ちか。

**答** 町内会分は修繕・電気料とも町内会持ち。修繕料は通常の街灯で4〜5千円。平成22・23年に更新した時、電気料があまりかからない蛍光管の街灯にし、町内会の負担軽減を考えている。

いかなくはならないが、取り壊して新たな施設を建てる計画はない。時期は未定だが大規模改修は必要と考えている。定住促進センターの経費は、平成三十年度で1,540万円である。

**問** 栗苗木植栽について、無償でなく長期賃貸に耐えられる契約を結ぶべきではないか。また面積等詳細は。

**答** 栗の植栽地は町有地で適したところがなく、町長の土地を借りることとした。面積は1万8,000㎡のうち2,000㎡借りることとしている。

**問** 身体障害者等自動車運転免許取得費補助金について、全体でどのくらい費用がかかるか。

**答** 通常の取得費用と同じ30万円ほどと思われる、そのうち10万円を補助するものである。

**問** 障害者ということで補助具等に特別な経費が自動車学校でかかっているか。

**答** 障害者ということで特別な経費はかかっていない。障害者の社会進出等のため補助として支払うものである。

**問** 往診手当の増額はなぜか。

**答** 既存の往診手当の予算は当初から置かれていたが、今年度往診が増えているための増額。

**問** 公民館脇のポプラの木はそのまま残すか。剪定費用50万円もかかるか。

**答** この木は旧下井河小学校の記念樹的な存在であり、撤去ではなく剪定をする。木が高いため大型クレーン車が必要で経費が高額となった。

**問** 過疎自立促進計画で追加になった三つの事業はいつ頃実行するのか、特に無線公衆LANは緊急災害時にいち早く活躍してもらえないと思うが。

**答** さくら駅の地下通路はこの後の予定。絵本のワークショップは契約済みで、随時イベントを開催しており年間契約で3

**問** 定住促進センターは全体的に老朽化しており、建て替えとか近い将来の計画は。また年間の経費は。

**答** 定住促進センターの老朽化については考えて

**問** 第6分団詰所のシャッターを全部ではなく3分の1程度の交換であるが、保険の対象になるか。

**答** 今回のケースはすべて保険の対象になるとのことだが、町側から修繕業者に支払ってからでないことと保険が適用にならない



大木となったポプラ



## ③ 人の議員 一般質問

定例会初日に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問した。質問順に掲載する。

P10	佐々木 昌子 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ 職員教育・新人の育成について</li> <li>❷ じまんこハウス改造について</li> </ul>
P11	石井 茂 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ 会計年度任用職員制度について</li> <li>❷ 街灯の費用負担について</li> <li>❸ 介護認定情報と障害者控除について</li> </ul>
P12	遠藤 政勝 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ 活性化の拠点、日本国花苑の整備について</li> <li>❷ 新たな市町村連携「圏域」構想について</li> <li>❸ 地方財政と基金残高について</li> </ul>

❶ 抜きの数字は掲載された質問です。それ以外は紙面の都合により掲載できませんでした。なお、掲載できなかった質問については議会議事録で見ることができます。

### ◆ 一般質問とは ◆

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することとしている。

井川町では、質問時間は、1人につき30分以内で完了することとされている。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば再々質問までとされている。

# 一般質問

## 来庁者には明るく笑顔で対応を 接客マニュアルの作成をすすめる



ささき しょうこ  
佐々木 昌子  
議員

### 佐々木

来庁者に、元気で明るく笑顔での対応ということについて、まだまだ改善の余地があると思われるが。

・多岐にわたる研修事業の中に、接客マナーと円滑なコミュニケーションという内容を注いでもらえないか。

・新人育成では、町をよく知る意味で地理的なことを含め、住民との交流を深めることが大事だと思うが、町としての取り組みを聞きたい。

### 町長

県と市町村の合同研修である、新規採用職員研修を初年度に二回受講している。公務員倫理や事務、法令の基礎知識の他、社会人として必要な接客やビジネス

マナーの研修もあり、早い段階でひととりの知識は習得している。

・研修のみで接客というものには満足にできるとは言い難く、実践を通して学んでいくものと考ええる。新人、中堅、ベテランに関係なく改善の余地は多分にあると考えている。現状を把握することに合わせ接客マニュアルの作成を進めている。作成後庁舎内で研修を開催しながら職員の接客向上に努めたい。

・他市町村出身の新規採用職員が増えている中、町内の場所の把握や住民との交流は必要である。人を知ることが職員にとっての財産。各町内の行事に参加する職員もあり、運動会に参加した職員もいる。町民に職員を知ってもらい、職員が町民を知ることが大事。町内、町外、新人、中堅、ベテランに関わらず職員の資質の向上、住民との交流の機会には町として取り組んでいきたい考えである。

## 「じまんこハウス」の改造の 考えはないか 食事処は民間運営で

### 佐々木

「じまんこハウス」を改造してはどうか。利用者も増加している中、ファミリー層に対応した食事スペースの拡大と、売店形式のファーストフードの取り入れを考えてはどうか。

・多数の要望が聞かれる「カフェ」の併設を含めた改造の考えはないか。

### 町長

平成15年11月オープンより会員相互の協力により今日に至るまで、町内外広く利用される地元で採れた新鮮な野菜や食材等を販売提供している。食事処は民間運営で、メニューをはじめ運営等に関して行政が物申す立場にない。現在の組織体制で運営可能かどうかが大きな課題。運営者や関係者を含めた意識の共有や話し合いが重要。運営本体からの要望等、話し合いは今のところない。

・軽食、カフェが求められているのも把握している。施設を建てるのではなく、どのような中身でやるかが重要。今後国花苑の整備等と合わせて検討していきたい。



「じまんこハウス」の改造は



いしげる  
石井 茂  
議員

## 答弁の整合性はとれているのか 何ひとつ変わっていない

**石井** 臨時職員などの待遇改善について

2009年と2014年に総務省から通知が出され、必要な対応を要請された。しかし、当町を含め多くの自治体では遅々として改善が進まなかった。

「最小のコストで最も効果的な行政サービスの提供を行うことが重要」と考えたからか、県の指導がなかったからなのか、理由は何か。

**町長**

当町を含めなかなか進んでいないという指摘は、どういうことを意図しているのかわからない。臨時職員の待遇改善については、賃金・保険・休暇など通知に基づいて対応してきた。

**石井**

昨年12月議会における私への答弁と整合性がとれていないのでは。

**町長**

何ひとつ変わっていない。今までの待遇がどうであれ、制度が制定されればもつと改善される。

**石井**

会計年度任用職員制度は来年4月1日よりスタートする。コソサルタントを使い近隣自治体と足並みを合わせるとの話もある。進捗状況はどうなっているか。

**町長**

今年1月に例規整備支援業務をコンサルタントと委託契約した。現在は、政策判断の有無があるので仕分け作業をしている。12月議会に提案したい。

自治体ごとに雇用の状況がちがうので、最終的な条例改正案はおのずちがってくるのではと思う。

## 街灯の費用負担に 明確な基準はあるか 町内会との相談が大事

**石井** 井川町は他町村に比べ街灯の設置数が多く、防犯上大きな力を発揮している。今後、新設される場所は少ないと思われるが、町内会より要望があった場合、費用負担をどう考えているか。

町内会からの要望ではあるが、町として必要な所に関して管理になったケースが過去にあったようだ。原則を守りつつ町内会と相談して決めたい。

**町長**

街灯は町管理と町内会管理の2種類がある。設置費用は町負担で、電気料や修繕費は各々となる。

原則的には、町内会からの要望があったものは町内会管理となる。

**石井**

明確な町管理と町内会管理の基準はあるか。

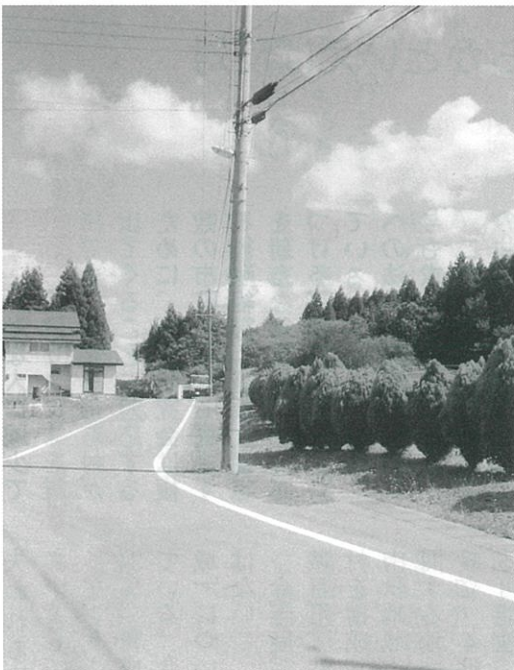
**町長**

町内会からの要望ではあるが、町として必要な所に関して管理になったケースが過去にあったようだ。原則を守りつつ町内会と相談して決めたい。

明確な基準はないが、担当者の思いひとつで決まるものではない。

これも質問

介護認定情報と障害者控除について



街灯は町内を明るくする

# 一般質問

## 日本国花苑の指針、整備はいつから 近いうちに示したい



えんどう 遠藤  
まさかち 政勝  
議員

**遠藤** 町のシンボル日本国花苑。桜の植栽から約50年、バラ園は約30年、彫刻設置から約25年近く、知名度も施設も整備され、後はこの公園をどう育てていくかだと思ふ。桜の200種、2,000本は維持するか。

**町長** 日本国花苑利用計画検討委員会の報告書を加味しながら、近いうちに指針を示したい。桜については種類、本数を維持ではなく時間をかけて拡充したい。

**遠藤** バラ園の規模も現状を維持するか。

**町長** バラ園は現在の規模では本数、種類でも精一杯なので駐車場からバラ園の通路沿いも含め検討していきたい。

**町長** お金を落とさせざるを得ない。施設は金をかければ簡単にできる。大事なことは中身だと思う。何が見られるか、何が食べられるのか、運営上からは、何を作れば売れるか、仕掛けることが必要。総合的に検討したい。

**遠藤** 国道285号線からステージ間に、駐車場と直売所等の複合施設、道の駅構想はないか。

**町長** 道の駅は考えていない。施設は金をかければ簡単にできる。大事なことは中身だと思う。何が見られるか、何が食べられるのか、運営上からは、何を作れば売れるか、仕掛けることが必要。総合的に検討したい。

**遠藤** も、見物するだけで、地域にはほとんどお金が落ちない、簡単にお茶等をする施設は考えられないか。

**町長** お金を落とさせざるを得ない。施設は金をかければ簡単にできる。大事なことは中身だと思う。何が見られるか、何が食べられるのか、運営上からは、何を作れば売れるか、仕掛けることが必要。総合的に検討したい。

**町長** お金を落とさせざるを得ない。施設は金をかければ簡単にできる。大事なことは中身だと思う。何が見られるか、何が食べられるのか、運営上からは、何を作れば売れるか、仕掛けることが必要。総合的に検討したい。

## 市町村連携「圏域」への考えは どちらかといえば反対



日本国花苑入口に道の駅は

**遠藤** 急激な人口減少で行政サービスを持てなくなる市町村が出てくることに対応するために、国の研究会は複数の市町村単位で構成する行政組織「圏域」構想を新たな行政単位に位置づける議論を本格化させている。そして「圏域」への法的権限や財源の付与も求めている。

**町長** 本町では「どちらかといえば反対」と回答。理由を「自治体独自の住民サービスがしにくくなるなど、自治が失われる恐れがあるから」としている。アンケート結果は反対34%、賛成が30%となっている。今のところ「圏域」について明確な定義はない。

今年度、県と本町、五城目町、八郎潟町、大潟村を構成メンバーとした南秋地域市町村間連携に関する地域連携研究会を設立。4町村で共同化する可能性について検討することとしている。

※「圏域」報告書の主な内容は

- ① 地方の9割以上の市町村で人口減少が予想され、市町村ごとの政策では住民の暮らしを維持することが難しくなる。
- ② 市町村が人工知能などを活用し、職員が半減したとしても、機能する体制の構築が求められる。
- ③ 複数の市町村で構成する圏域を新しい行政単位とし、圏域単位の行政を標準とする必要がある。また、フルセツト行政には限界がくる。

### これも質問

地方財政と基金残高について

# 陳情

9月定例会に4件の陳情書が提出され、審査の結果2件を採択、1件を不採択、1件を継続審査とし、関係機関に意見書を提出した。

採択

全員一致

◎新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について

秋田県山村・過疎地域振興協議会  
会長 佐々木 哲男

◎町議会として、秋田市新屋への地上イージス配備反対の意見表明を求める陳情

ミサイル基地イージス・アショアを考える秋田県民の会  
代表委員代表 川野辺 英昭

不採択

賛成少数

◎米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

宜野湾市民の安全な生活を守る会  
会長 平安座 唯雄

継続審査

全員一致

◎日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

一般財団法人日本沖縄政策研究フォーラム  
理事長 仲村 覚

## 町監査委員会審査の総括的意見《要旨》

審査の結果、一般会計、特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等の計数は関係帳簿及び証書類と符合しており、正確なものと認められた。また、予算の執行状況並びに会計経理事務及び基金の運用状況等も適正と認められた。

井川町監査委員 藤田 馨・白川雅孝

### ◆ 年度別財政分析比較 ◆

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
経常収支比率		81.2%	82.5%	84.8%	町村にあっては70%程度が妥当といわれ、75%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあるといわれている。
実質収支比率		9.0%	7.5%	8.1%	剰余又は欠損の状況を財政規模との比較で表したもので、3~5%が望ましいといわれている。
公債費比率		10.1%	9.5%	8.2%	通常、財政規模の健全性が脅かされないためには、この比率が10%を超えないことが望ましいとされている。
財政力指数		0.227	0.231	0.233	財政上の能力を示す指数をいい、この指数が1に近いほど財政力が強いといわれ、1を超えると交付税が不交付になる。
地方債許可制限比率		5.4%	6.1%	6.1%	過去3カ年度間平均で20%以上になると、起債の許可が一部制限されるので、15%を超える団体は特に地方債の管理に配慮する必要があるとされている。
実質赤字比率		—	—	—	一般会計の実質赤字を比率で表したもので、15%を超えると財政の早期健全化が必要とされ、20%で財政再生団体となる。
連結実質赤字比率		—	—	—	特別会計を含む全会計の実質赤字を比率で表したもので、20%を超えると財政の早期健全化が必要とされ、40%で財政再生団体となる。
実質公債費比率		6.6%	7.7%	8.1%	公債費等の経費の比重を示す比率で、25%を超えると財政の早期健全化が必要とされ、35%で財政再生団体となる。
将来負担比率		—	—	—	一般会計が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率で、350%を超えると財政の早期健全化が必要とされる。

※「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」の「—」は、赤字ではない場合の表記方法。  
※「将来負担比率」の「—」は、比率が「0」または「マイナス」となる場合の表記方法。

### 教育委員会委員の任命へ同意

人事案件



新任 遠藤 勇人氏  
(今戸町内)

伊藤守委員が令和元年9月30日をもって任期満了となるため。

### 人権擁護委員の推薦

再任 遠間 富和氏  
(田中町内)

令和元年12月31日をもって任期満了となるため。

# 町の将来に活かせ!

## 県外行政視察

### 視察先

和歌山県 九度山町・田辺市・すさみ町

今回の視察は人口・財政規模が同等な自治体で  
①議員定数・議事日程等の議会活動、②特産品開  
発、③少子高齢化の対応、④廃校の活用などに  
ついて研修した。

### 九度山町視察

7月16日最初に視察し  
たのが和歌山県九度山  
町。人口4,377人(4,  
986人) 27年国調、総  
面積44・15km<sup>2</sup>(47・95km<sup>2</sup>)、  
財政規模、28年度一般会  
計で31億円(31億円)の  
町です。※( )内は井川町

「入庁前は一列にてお  
出発前に九度山町よ  
り」

「お願いします」との要請を  
受けていたが、理由はす  
ぐわかった。庁舎に着く  
と町長・議員・幹部職員  
が一列に並び出迎えてく  
れ、庁舎内を進んでいく  
と職員が次々と起立し、  
「ごくろうさまです。」と  
声をかけてくれました。  
ある意味感動し強い感謝



町の立体模型を囲んでの会議

の念が湧いてきました。  
研修には町長・議員9  
名、各課係長など14名が  
参加し、詳しく説明・応  
答して下さいました。

### 〈議員定数〉

区長会(12地区)の提  
言があったこともあり、  
平成26年9月、全員協議  
会を開催。その後も協議  
を重ね同年12月、12名か  
ら10名にする条例の改正  
を可決。人口減少と近時  
の諸情勢を鑑みた結果で  
あったとのこと。我議会  
でも定数について話題に  
上がっている。慎重に審  
査すべきと考える。

### 〈議事日程〉

平成31年第1回定例会  
は3月5日開会、3月25  
日閉会で会期は21日間、  
3月7日一般質問通告締  
切り、3月15日一般質  
問。町長の諸報告を聞き  
てからの一般質問は参考  
になった。休会が14日と  
いうのはどうかと思っ  
たが、本町の会期日程がき  
ついのもどうかと思う。

### 〈少子高齢化の対応〉

民間10軒、町営13軒に  
若者世帯家賃補助を実施

しているとのこと。我町  
でも検討しているが、ス  
ピード感が大事だと思っ  
た。

### 〈特産品開発〉

柿が名産。県全体で4  
万tを出荷していて、内  
3,540tが九度山町  
産、若手農家が組合法人  
を立ち上げ生産・加工に  
た。

### 廃校木造校舎との融合



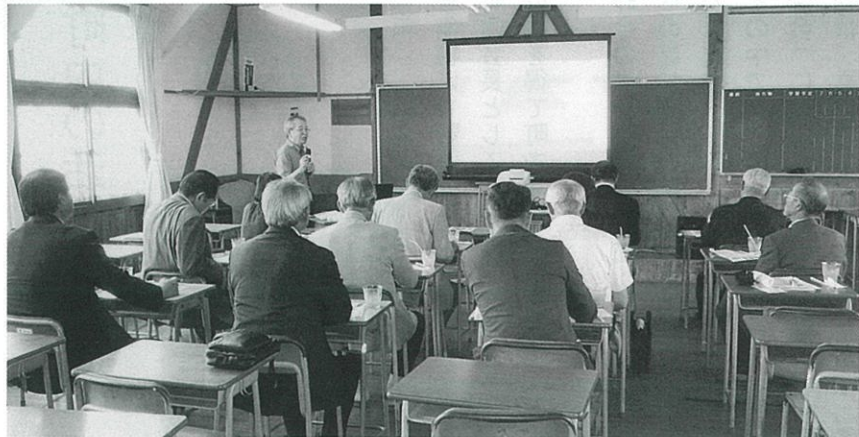
昔懐かしい木造校舎

全国的に廃校の利活用  
が注視されています。井  
川町でも、黄色い屋根の  
旧小学校の再利用をどう

すべきかという大きな問  
題を抱えている状態  
です。そんな中、翌日田  
辺市の秋津野ガルテンを訪

ねました。ガルテンとはドイツ語で「小さな庭」平成20年11月に地域住民が出資し誕生させた都市と農村の交流を目指したグリーンツーリズム施設です。田辺市上秋津小学校の跡地で、校庭内には地元のお母さん方が作るスローフードバイキング料理を提供する農家レストランや宿泊施設、お菓

子体験工房や旧木造校舎を活かした体験棟、また地域のみかん作りの歴史を紐解いたみかん資料館などもありました。あの懐かしいゆつたりとした時の流れを皆が感じました。私的には井川東小学校を彷彿とさせるものがありました。「農を元気にし、地域を元気にする」ために(1)食育事業、(2)貸



廃校舎活用の事業内容を拝聴

し農園事業、(3)農家レストラン事業、(4)オーナー樹(園)事業、(5)田舎暮らし支援事業、(6)地域づくり研修受け入れ事業等を行ってまいります。利用者数は一年間に約6万人。平成30年度利用交流人口は約7万人でした。

住民ができることは住民がする。多くの住民の総意は行政を動かす力になることを経験し学んできたそうです。今、農業を取り巻く環境は厳しく、廃園や遊休地の増加、担い手や労働者不足などさまざまな問題がありますが、地域づくりの延長線上で自信をなくしている田舎が多い中、ここに

住む、ここで暮らすという誇りを次世代につなげていく取り組みを考えています。

この秋津野ガルテンは廃校となった木造校舎や校庭が、マスタープラン実践との理想的な融合ではないでしょうか。

旧井川小学校の利活用を引き込むのが見いだせればと思います。

## すさみ町視察研修

午後、すさみ町役場及び、多世代交流施設イコラでの研修でした。

議会活動と議会改革への取り組みでは、議員定数は、昭和30年3月40名、同年4月選挙で22名、昭和38年20名、昭和50年18名、昭和58年16名、平成7年14名、そして、平成16年現在の10名に定数削減しております。

合併時の人口は1万880名でしたが、現在は4,000人位です。平成16年、議員発議により、定数を14名から10名に賛成多数により可決しております。

当時は、合併協議が行われ、財政的にも苦しい時期であり、議員サイドから、定数削減の提案でした。

井川町も16年12月議会ですさみ町を選挙し、町長10%、議員で5%報酬カットを行い、議員定数も16名から現在の12名に削減しております。すさみ町では、コミュ

## すさみ町視察研修

ニティバスを運行しており、中学生以下は無料で、その他は100〜200円の料金がかります。

井川町では、無料巡回バスを運行しており、時間の合わない点もありますが、これで良いと思います。

すさみ町の特産品開発では、F1イノブタ、オスの猪とメス豚と掛け合わせ、すさみケンケン鯉が

特産のようでした。どこの町も、今後直面する問題ですが、人口減少があげられます。

現在のすさみ町の人口は4,000人、何もしないと、2050年には約1,800人まで減少する人口推移であります。

井川町においても、積極的に、地域活性化に取り組む、交流人口の増加を図りましょう。



すさみ町役場前にて

私の



寺沢町内会長  
小林 長美

町内の活性化を願って

今年、降水量も少なく、夏は、猛暑日が続く作物にも影響を与える異常な年です。町内会長として、3期6年目を迎え、会員の協力を得て町内活動も何とか行ってきました。

昨今の少子高齢化社会により、当町内も活動への参加人数が減少するなど今後の課題とされます。

その中で、年に一度開催される「ふれあい交流会」には、多くの会員が参加しています。最初は、高齢者を対象にした行事でしたが、今は全会員に案内を行っています。婦人会員から協力頂き、会員が作る料理を食べ、アトラクション、ゲーム等で大いに笑い、隣り同士でお喋りして一日楽しく過ごせることが会員たちの喜びとなり、今後も継続していきたいと思っております。

これからも、高齢者や若い人達が元気で町内活動に参加できるよう、会員同士が力を合わせて町内を盛り上げていくことを願っております。

議会のうごき

- 7月8日 令和元年度南秋田郡町村議会議員大会 (五城目町：五城館)
- 7月16日～18日 議会議員行政視察研修 (和歌山県)
- 7月19日 湖東地区行政一部事務組合議会定例会 (湖東消防署)
- 7月24日 第55回井川町老人クラブ大会 (農村環境改善センター)
- 7月26日 八郎瀧町・井川町衛生処理施設組合議会 (八郎瀧町役場)
- 7月31日 秋田県町村議会広報研修会 (秋田市：ルポールみずぼ)  
秋田県町村議会議員研修会 (秋田市：県市町村会館)
- 8月6日 井川町戦没者追悼式(農村環境改善センター)
- 8月8日 令和元年第4回議会運営委員会 (役場：正副議長室)  
令和元年第2回井川町議会臨時会 (役場：議場)
- 8月15日 井川町成人式 (農村環境改善センター)
- 8月20日 秋田県町村議会議長会監事会 (秋田市：県市町村会館)
- 8月27日～28日 岩手県、秋田県、山形県合同町村議会議長等中央研修会 (東京都：全国町村議員会館)
- 9月3日 議長・副議長・議運委員長会議 (役場：正副議長室)  
南秋田郡町村議会議長連絡協議会 (八郎瀧町役場)
- 9月4日 議会に関する説明会 (役場：議員控室)  
井川町敬老式 (町民体育館)  
令和元年第5回議会運営委員会 (役場：正副議長室)  
議会だより編集委員会 (役場：小会議室) (以降5回)
- 9月11日～19日 令和元年第3回議会定例会 (役場：議場)

編集後記



各地では、台風発生のため甚大な災害が発生し、被害も多く未だに復旧作業も終了できない状態が続いています。一日も早い復興を心から願う毎日です。

我が町では、台風の被害等は少なかつたようですが、記

録的な猛暑が毎日のように続き、大変な日々が続いておりました。防災に対する取り組みは大丈夫だろうか、不安を感じるのは誰しも同じかと思えます。

今こそ、非常時への対応の取り組みと、お互いを思いやる強い絆が必要ではないでしょうか。(伊藤 俊郎 記)

発行責任者	藤田 俊悦
委員長	湊 文博
副委員長	松田 弘咲
委員	浅野 義幸
委員	伊藤 俊郎
委員	遠藤 政勝
委員	渡部 豪士

お詫び

139号(P4)での特別賃貸町営住宅を誤った画像で載せてしまいました。お詫び致します。